

アイノウイルス感染症に注意しましょう！

徳島県内でアイノウイルス抗体陽転を確認

全国的に実施されているアルボウイルス感染症サーベイランスにおいて、徳島県の複数の農場でアイノウイルスの抗体陽転が確認され、今年度の県内での流行が示唆されました。

アイノウイルス感染症とは？

- 吸血昆虫（ヌカカ）の吸血により媒介されます。
- アイノウイルスが妊娠牛に感染すると流死産や胎子の脊柱や関節の湾曲、大脳欠損、小脳形成不全などを引き起こします（秋～翌春）。

流産や死産が続く、体型異常の子牛が生まれたなどの場合は家畜保健衛生所まで御連絡ください。



脊柱、四肢の湾曲



ヌカカ

写真：農研機構動物衛生研究部門

治療法はなく予防が重要です！

<ワクチン接種>

アイノウイルスを含む異常産混合ワクチン接種が有効です。
ヌカカの活動が活発になる前の春頃に接種してください。

<吸血昆虫対策>

ヌカカの発生しにくい環境整備（牛舎周辺の清掃や乾燥）
牛舎への侵入防止（防虫ネット、殺虫剤散布など）